

## 佐賀のお茶広報業務委託に係る質問について（回答）

佐賀のお茶広報業務（令和8年2月13日付け公示）について、様式第1号「質問書」の受付を締め切りました。

質問及び回答は次のとおりです。

### 1. 全国お茶まつり佐賀大会について

令和8年11月開催予定の「全国お茶まつり」において、受託者が担うディレクション業務の範囲は、以下のいずれまでを指しますでしょうか。

- a) 本業務の目的である「佐賀のお茶」のPRに関連する企画・運営、広報、およびサポーターの店との調整
- b) 上記に加え、お茶まつり全体の会場構成(佐賀のお茶以外のPRブース設置等)、県外自治体・他産地等との連絡調整を含む、イベント全体のディレクション業務

（回答）

本業務で受託者に担っていただくディレクション業務の範囲につきましては、ご提示いただいた a) に該当する内容のみとなります。一方で、ご質問の b) に該当する業務については、別途で委託する「全国お茶まつり消費拡大イベント」の受託者が行います。

また、a)のうれしの茶サポーターの店に関する業務のうち、全国お茶まつり消費拡大イベントへの出展希望の呼びかけは今回の業務範囲に含まれますが、出展者説明会の実施やレイアウト作成など、全体の出展に係る調整については、うれしの茶サポーターの店の出展者も含めて一括で「全国お茶まつり消費拡大イベント」の受託者が実施する予定です。

### 2. オウンドメディアへの投稿回数について

「佐賀のお茶、サポーターの店、茶生産者、茶販売事業者等に関する記事を、概ね月1～2回の頻度で、年間16回以上投稿すること」とありますが、WEBサイトとInstagramを合わせて16回でしょうか、もしくはそれぞれ16回でしょうか。

（回答）

「年間16回以上の投稿」につきましては、Instagramのみで16回以上投稿していただくことを想定しております。WEBサイトについては、Instagramで作成・掲載した記事を活用し、同じ内容をWEBサイトにも掲載するイメージです。（WEBサイトへの掲載作業は県側で行います）

### 3. オフラインイベントについて

オフラインイベントの「サポーターの店を集めたイベント」について、当該イベントを実施するにあたり、参加店舗数の下限値（最低何店舗以上など）や想定されている規模感はありますでしょうか。

「佐賀のお茶及び全国お茶まつりのPRイベントを3回以上企画・実施すること。」とありますが、この3回の中に、「お茶まつり大会」、「サポーターの店を集めたイベント」それぞれ1回を含むかご教示いただけますと幸いです。

（回答）

うれしの茶サポーターの店を集めたイベントの参加店舗数につきましては、実施内容や開催場所によって最適な規模が変わるため、明確な下限を必ずしも固定しているものではありません。ただし、目的として、“うれしの茶サポーター店舗同士のつながりづくり”と“コミュニケーション・コミュニティ形成”を重視していることから、一定の交流が生まれる規模として、目安としてはイベント1回あたり7店舗以上を想定しています。最終的な規模は、企画内容や開催方式に応じてご提案いただければ幸いです。

「年間3回以上」のオフラインイベントの内訳については、ご認識のとおり、「全国お茶まつり消費拡大イベント」「うれしの茶サポーターの店を集めたイベント」の各1回を含め合計3回以上をご提案いただく想定です。

### 4. 提案書類提出時の業務実績書について

業務実績書について、「完了報告書等を添付する」とありますが、現在履行中の業務（未完了のもの）を実績として記載することは可能でしょうか。また、対象期間に制限（例：過去〇年度以降のもの等）がある場合はその詳細をご教示ください。

業務実績書について、指定の様式が示されておりませんが、任意に作成した様式を使用して差し支えないでしょうか。

（回答）

対象期間は令和5年度以降の実績としてください。行政関係機関からの受託実績については、必ずご記入をお願いいたします。また、記載いただく全ての実績について、業務内容および完了状況が確認できるよう「契約書・仕様書・業務完了認定通知等」の関係資料を必ず添付してください。

なお、現在履行中の業務についても記載可能ですが、その場合は上記の資料に加えて、進捗や履行状況が分かる確認資料（進捗報告書等）を添付いただくようお願いいたします。

業務実績書の様式につきましては、本プロポーザルへの参加申込後に、別途メールにてお送りします。お手数ですが、そちらの様式をご使用ください。

5. うれしの茶サポーターの店のチラシについて  
想定されているチラシの部数をご教示ください。

(回答)

現時点では 概ね 2,000 部程度を想定しておりますが、最終的な部数については、今後の配布方法や全国お茶まつり消費拡大イベントの規模に応じてご相談させていただければ幸いです。

6. 好評だった実施イベントについて

これまで本事業や、全国お茶まつり等のイベントで PR (広報) 展開を行った際反応が良かったものはありますか。またその予算規模を可能な範囲でご教示ください。

(回答)

これまで本事業で実施したイベントで反応が良かったものについては、開催場所やターゲット層、実施内容によって目的が大きく異なるため、一概に比較することは難しい状況です。その上で、参加者数という観点から比較的反応が良かったイベントとしては、以下が挙げられます。

- ・ガラポン抽選を活用したイベント (参加しやすく、集客につながりやすい)
- ・SNS キャンペーン (参加のハードルが低く、幅広い層に PR 可能)
- ・ブレンドティーづくり (オリジナルで作れることが好評)

全国お茶まつりの過去大会では、茶種を飲み比べて当てる利き茶体験や、お茶の淹れ方教室などの、体験系は幅広い世代に人気です。利き茶体験については、別途で委託する「全国お茶まつり消費拡大イベント」の方で実施を予定しております。

予算規模については、業務を委託して実施しているため、各イベントの詳細な金額は把握しておりません。なお、これまでのオフラインイベントでは、県側 3 名程度 + 受託者側 3 名程度の体制で運営していました。

本事業においては、これまでの取組内容を踏襲する必要はなく、過去の手法にとらわれず、目的に合った新たな企画をご提案いただいても問題ありません。